



総合交通メールマガジン 第2号

平成20年8月27日発行

発行元：国土交通省 政策統括官付 川西参事官室

目次



Topics

- ・「地域公共交通の活性化・再生への事例集」について
- ・「自律移動支援プロジェクト」の取組について



地域の取組紹介

- ・茨城県
- ・滋賀県東近江市



Information

- ・「地域の自立的発展のためのモビリティ確保に向けた検討の手引き」へのご意見募集中！！
- ・地域の取組募集！！
- ・総合交通メールマガジンのホームページ掲載について



編集後記

Topics



「地域公共交通の活性化・再生への事例集」について

(国土交通省総合政策局交通計画課)

地域公共交通は、地域の経済社会活動にとっての重要な基盤ですが、地域公共交通の利用者は長期的に減少傾向となっており、地域によってはその持続的な運営は危機的な状況にまで達しています。このような背景のもと、平成19年10月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が施行されました。

国土交通省総合政策局交通計画課では、市町村をはじめ、利用者・住民等や商業施設・事業所・病院・学校等地域の関係者、そして交通事業者といった多様な主体が、地域公共交通の活性化・再生に取り組むにあたって必要なノウハウ・情報等を調査した報告書や、全国のさまざまな取組を集めた事例集（102事例）※など、地域公共交通の活性化・再生に関する情報をホームページにて公開しておりますので、是非ご覧下さい。

URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/index.html>

※ 事例集 : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/jireiindex.html>

「自律移動支援プロジェクト」の取組について

「自律移動支援プロジェクト」については、前号のメールマガジンにて、全国5地区（東京都中央区銀座、岐阜県高山市、愛知県豊田市、兵庫県神戸市、奈良県奈良市）で今年度予定している実証実験に参加する民間企業等の公募を行っている旨ご案内したところです。

この度、各地区で参加する民間企業等が決まりましたのでご紹介します。

◇東京都中央区銀座（銀座地区） [1グループ]

- ・(株)横須賀テレコムリサーチパーク【代表】、ソフトバンクテレコム(株)、ノキア・ジャパン(株)、(株)ウィルコム

◇岐阜県高山市（高山地区） [2グループ]

- ・(株)横須賀テレコムリサーチパーク【代表】、ソフトバンクテレコム(株)、ノキア・ジャパン(株)、(株)ウィルコム
- ・(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ

◇愛知県豊田市（豊田地区） [1グループ]

- ・(株)横須賀テレコムリサーチパーク【代表】、ソフトバンクテレコム(株)、ノキア・ジャパン(株)、(株)ウィルコム

◇兵庫県神戸市（神戸地区） [2グループ]

- ・(株)横須賀テレコムリサーチパーク【代表】、ソフトバンクテレコム(株)、ノキア・ジャパン(株)、(株)ウィルコム
- ・(株)ナビタイムジャパン【代表】、KDDI(株)、(株)KDDI研究所

◇奈良県奈良市（奈良地区） [1グループ]

- ・(社)奈良市観光協会

今年度参事官室では、これまでの検討成果、今年度の実証実験や技術的検討の成果を踏まえ、本プロジェクトの成果を評価し、取りまとめることとしています。

このため、学識経験者や有識者等から助言、提言を頂くことを目的として、8月26日（火）に「第1回自律移動支援プロジェクト評価委員会」を開催しました。

会議資料等については、下記URLをご参照下さい。

URL : <http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/jiritsu/index.html>

地域の取組紹介

茨城県

茨城県より都道府県での取組事例として、茨城県の公共交通活性化策について紹介頂きます。

【茨城県の取組】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/ibaraki0808.pdf>

茨城県公共交通活性化会議ホームページ：<http://www.koutsu-ibaraki.jp/>

滋賀県東近江市

市町村合併を契機に交通体系を再編した事例として、滋賀県東近江市より「ちょこっとバスが東近江市を元気にする！」と題して紹介頂きます。

【東近江市の取組】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/higashiomi-shiga0808.pdf>

ブログ「ちょこっとバス日記」：<http://tyokotto.shiga-saku.net/>

東近江市役所ホームページ：<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>

Information

「地域の自立的発展のためのモビリティ確保に向けた検討の手引き」へのご意見募集中！！

「地域の自立的発展のためのモビリティ確保に向けた検討の手引き」へのご意見をお寄せ頂き誠にありがとうございます。8月27日現在、約120件を数えるまでになっております。引き続き「手引き」についてのご意見を募集しておりますので、宜しくお願い致します。アンケート用紙については、下記URLからもダウンロードできます。なお、「手引き」についてご不明な点等ありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

URL：

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000006.html

地域の取組募集！！

当室では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向け、モビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 公共交通の利用者増加（自家用車から公共交通への転換等）を目指した取組
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※ 創刊号では北海道当別町、第2号では茨城県と滋賀県東近江市の取組を紹介させていただきました。

総合交通メールマガジンのホームページ掲載について

総合交通メールマガジンのバックナンバーをホームページに掲載しました。(下記URL参照)

URL :

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



7月に創刊した総合交通メールマガジン、この度、第2号を発行する運びとなりました。創刊後、多くの方から配信希望があり、お礼のお言葉なども頂きました。今後も当メールマガジンの内容を充実していきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第2号で紹介している茨城県公共交通活性化会議ホームページでは、ノーマイカーの取組としてカロリー消費をおにぎりで表現して計算できるページがあり、興味を持たれる方も多いのではないのでしょうか。また、滋賀県東近江市のブログ「ちょこっとバス日記」では、公共交通の取組をブログ形式で配信しており、小ネタなども掲載されているので新しい取組だと感じました。今後も各地の取組を紹介することにより、広く皆様に情報提供できればと考えております。

先日、公共交通機関を使って旅行する機会があり、某県の観光地に行ってきました。この旅行を通じて、観光地における公共交通機関の重要性、情報発信体制の未整備を痛感しました。今回訪れた場所に限らず、全国の観光地でも同じような事例があると思いますので、一観光客としての目線で見えた感想・不満として以下に紹介させていただきます。各地で取組をされている方に対して失礼なこともあるかと思いますが、皆様の幅広いご意見をお待ちしております。

《 事前調査（HP）にて 》

- 観光地へのアクセスはHPに掲載されているが、東京や大阪など主要都市から最寄り駅までの案内であり、最寄り駅からの案内が極端に少ない。例えば「電車やバスで〇〇分」のみの案内。便数が少ないのであれば、その旨の記載や関連ページ（鉄道会社やバス会社などの時刻表）へのリンクなどがあると分かりやすくなると思う。
- 一回の旅行で周遊することが可能なエリアにおける観光地間のアクセスの案内がない。観光エリアを総括して案内するような機関やHPがあれば、効率的に観光することができ、長期滞在にもつながる。
- 現地の観光案内所等で配られているリーフレット（バスの経路や便数など）の情報がHP等に掲載されていないため、現地に行ってから計画を立てることになる。事前に入手できれば、十分に計画を立てた旅行ができる。

《 現地にて 》

- バス停に掲載されている情報で、観光シーズンのみの臨時便があることは分かるが、バス停が別の場所なのに地図表示等の案内が全くない。待ちぼうけの危険性、大！！（パンフレットにはあった。）簡単な案内地図や別の場所のバス停である旨の案内だけでも十分だと思う。

国土交通省では10月に観光庁を設置し、観光立国の実現に関する施策を総合的に推進していくこととなりますが、訪問する人に快適な移動手段を提供するという観点からも、利用客の視点に立った情報発信や現地での案内が重要であると感じました。公共交通機関の少ない不便な場所ほど充実した情報発信が必要だと思います。

訪れた観光地が素晴らしかっただけに、情報発信・案内が充実していれば、より計画的に、有意義に観光することができたと思った次第です。

(KT)

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官室 メールマガジン担当 いそがわ 五十川、辻本

TEL : 03-5253-8111 (内線53-113、53-115)

FAX : 03-5253-1675

E-mail : soukou@mlit.go.jp

URL : <http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/index.html>

